

CEC21ワークショップ 研修プラン No1

1 研修名

21世紀型コミュニケーション力向上につながる研究授業・授業研究会

2 期 日

平成24年10月30日（火） 研究授業 14時05分～14時50分
研修会 15時20分～16時50分

3 開催場所

佐賀市立赤松小学校

4 対象者

(●) 校内の教職員 () 地域の教職員 () その他 []

5 利用モジュール

(●) 理論説明 (●) 課題解決 () 思考ツール

6 研修の流れ [90分]

(1) 理論解説 [30分]

時	主な活動内容	具体的内容・備考
30分	1. 「21世紀型コミュニケーション力」について理解する。 2. 「21世紀型コミュニケーション力能力表」について理解する。 3. モデル授業を視聴する。 2-1 モデル授業の概要を理解する。 3. 授業設計のイメージをもつ。	・資料スライドを提示しながら、「21世紀型コミュニケーション力」について説明する。 【配付資料：「コミュニケーション力指導の手引き」p8-9】 ・算数を例に、そのつみあげについて理解する。 【配布資料：「続・コミュニケーション力指導の手引き」p8-11, 20-23】 ・能力表を見ながら、本時の授業ではどの段階にあるのか話し合い、共通理解を図る。 ・配布資料を読み、モデル授業の概要について理解する。【配布資料：「続・コミュニケーション力指導の手引き」p48-50, 75-80】 ・授業の概要を説明し、視聴の際の視点を示す。 （今後生かしていきたいこと、能力表に照らしての子どもの段階、改善点など） ・必要に応じてビデオを止めながら、配布資料をもとに説明を加える。 ・モデル授業の感想や授業に生かしていきたいことを小グループで話し合う。

(2) 課題解決 [60分]

時	具体的内容	備考
5分	① 授業内容の説明	①担当学年・授業者等が、研究授業の概要や意図を簡単に説明する。
10分		・担当学年の先生から授業について説明してもらう。
15分	② グループづくり	・研究会では、柱1を話し合い場面での手立てや効果について、柱2をICTの効果的な利活用について話し合いを進めるようにする。(②～⑦の研修の進め方について説明する)
15分	③ 付箋に意見を書き出す	②グループづくり(同一学年、異学年を考慮してグルーピングする。グループファシリテータ(GF)をあらかじめ決めておく)
10分	④ 意見の分類、整理	・低・中・高学年のグループに分かれて話し合いを進めるようにする。
5分	研究授業の工夫点と改善点を書いた付箋紙を分類・整理する。	・授業研究部の各担当が、グループファシリテータとなって進めるようにする。
	⑤ 各グループの発表	③付箋に記入する
	⑥ 提案内容の検討	・付箋に(1)相互評価(学びあい)(2)ICTの効果について、授業のよかった点(赤色)と改善点(青色)について書き出すようにする。
	今後の対策をまとめる。	④内容を吟味しながら、いくつかのまとまりに整理する。
	⑦ 話し合いを受けての意志決定	・書いた付箋に説明を加えながら順番に出し合い、似ている内容はまとめて整理する。
	⑧ 全体での意見まとめ	⑤グループごとに発表する。(GF役が、1～2分程度で、わかりやすく要点を話す。ファシリテータが、発表グループのポイントを価値づける。)
	⑨ アンケート記入	・グループでまとめた内容を発表させる。(よかったことと、課題について板書で整理する。)
		⑥課題について全体で話し合う
		・課題としてあがったことをどのように解決していくか、実践していること等を含めて出させるようにする。
		⑦今後の実践で生かしていくことを意志決定する。
		・これまでの話し合いをもとに、よかったこと、課題を含めて、自分が取り組んでいこうと思うことをワークシートに記入させる。
		⑧ファシリテータが、授業研究会全体の方向性をまとめる。
		・研究授業の成果と次への課題を明らかにする。

チェックリスト

- ☐資料印刷 配布（月曜日）
- ☐プレゼン 電子黒板へ
- ☐モデル授業動画準備
- ☐インタビュー準備
- ☐付箋、表、
- ☐アンケート用紙